

奈良市西部、あなたのまちで、
孤立化の未来を変えたい。
支え合いの仕組みをつくりたい。

＜今のままの担い方は限界！＞
困っているのに気付かれない。
支えたいのに届かない。
関わりたいのに道がない。

そこで、地域のまんなか
「関わりの道」を置くことで
住民と地域をつなぎ、
「届く」「気付く」に変える。



 **NPO法人**
地域つながりプロジェクト

「関わりの道（つながりアプリ）」を軸にして、埋もれる地域グループをどんどんつなげていき、住民一人ひとりの手元に価値を届けます。



地域がどう変わるか



「道」で、こんな風にな変わっていきます。

- 孤立する人を、支え手に大転換します。
- 住民や団体の得意で自治会の負担を減らせます。
- 小さな困りごとでも声をあげやすくなります。
- 埋もれる小さなグループでも広報力が生まれます。
- グループ同士の資源・人・課題を知り、協働が生まれます。
- スマホが使えない人を、支える仕組みができます。
- スマホ、パソコン、AIを知りたい！を雑談できる場が増えます。
- 高齢化する団体のホームページ更新が回るようになります。
- 「回覧板」が届かない人にも情報が届きます。
- 自治会の価値が届き、神社や文化の仲間も増やすことができます。
- 地域資源の掘り下げで、災害チームをつくれます。
- 災害時に地域全体をつなぐ、災害ポータルをつくれます。
- ゆるやかに「顔が見える関係」をつくることができます。
- 就労困難な若者を、地域の力に変換できます。
- 世代間の交流が生まれます。
- 移動販売やフードバンクとも協働が生まれています。

< 誰も「自分の好きなこと、困っていること」には関心を示す >

「無関心層」とよく言われますが、実際はそうではなく、つながりの希薄化によって「地域のことを知らない層」が増えているだけだと考えています。だからこそ私たちは、地域資源（ヒト・モノ・コト・困りごと）をすべて見える化することで、「関わり方を選べる状態」をつくらうとしています。「これなら関わってもいいな」と思う住民が、ひとりでも増えれば、それは孤立化を防ぎ、「好きなことで支える人」になり、やがて自治・福祉・防災・教育・文化を支える「担い手」に育っていくと信じて、活動しています。